

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

総合学科として、多様な選択を生かし、主体的で充実した高校生活を通して自らの「夢」にチャレンジする生徒を育て、希望する進路を実現するための確かな学力が身につく「進学重視の総合学科」をめざす。

1. 夢チャレンジを具体化する教育活動の展開
2. ともに学び、ともに育つ学校生活の充実
3. 主体的・対話的で深い学びの実現と、確かな学力の育成

めざす生徒像

1. 21世紀をになう人
2. 知・徳・体の調和のとれた人
3. 時代の変化に対応できる人
4. 堺東高校から世界にはばたく人
5. 感性・創造性豊かな人

中期的目標（数値目標は、令和5年度に向けての予定です）

1 確かな学力の育成と授業改善

(1) 授業の充実と授業改善

ア 教員間における「授業見学」や研究授業の「研究協議」や生徒の「授業アンケート」を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」や1人1台のパソコン配備によるICTを活用した授業改善に取り組む。 ※授業アンケートにおける教材活用満足度をR5年度には88%とする。(H30:82%、R1:84%、R2:86%)

(2) 自分の意見をまとめ、相手に自分の考えを伝える能力の向上

ア 「総合的な探究の時間」の充実を図る。 ※総合学科アンケートにおける「コミュニケーション能力が身についた」R5年度には72%とする。(H30:74%、R1:72%、R2:65%)

(3) 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養

ア 「学力生活実態調査」の結果分析を踏まえ、基礎学力の定着を図る。 ※「学力生活実態調査」(1, 2年)におけるGTZの1年B2、2年B3を共にR5年度にはB2とする。(H30:[B2、B3]、R1:[B2、B3]、R2:[B2、B3])

イ 「一日勉強会」等の自主学習会を継続し自ら学ぶ意欲を高める。 ※学校教育自己診断における「学習に頑張ってきた」R5年度には75%とする。(H30:66%、R1:72%、R2:72%)

2 安全で安心な学校づくり

(1) 人権教育の推進(生徒一人ひとりがそれぞれの個性を尊重しあう集団づくりを行い、人権を尊重する学校づくりを行う)

ア 自立支援コースの充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」学校づくりを推進するとともに府内の高等学校における支援教育力の向上に貢献する。

イ いじめの早期発見・対応、体罰防止など、生徒一人ひとりの人権を尊重する学校づくりを推進する。

(2) 教員の人権意識の高揚

ア 校内人権研修を通じて自らの人権感覚を高め、人権侵害のない学校づくりをめざす。

※教員の「学校教育自己診断」における『人権教育の校内研修や学習会は充実している』R5年度には77%とする。(H30:77%、R1:74%、R2:75%)

(3) 生徒の規範意識の醸成

ア インターネット等による人権侵害の防止や交通マナーを遵守する指導を徹底し、また薬物防止乱用教育に取り組む。

※生徒の「学校教育自己診断」における『生活指導上のルールを守っている』R5年度には94%とする。(H30:91%、R1:94%、R2:92%)

(4) 通学路の安全確保

ア 行政とともに学校周囲の歩道整備を計画し、地域の理解・協力も得ながら完成をめざす。

3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成

(1) キャリア教育の充実

ア 「総合的な探究の時間」「ホームルーム」「志学」等を通じてキャリア教育を充実する。

イ 保育所、病院、老人介護施設等へのインターンシップの充実を図り、それぞれの職業への理解を深める。

※生徒の「学校教育自己診断」のキャリア教育に係る満足度90%の維持(H30:87%、R1:90%、R2:90%)

「選択した科目で自分の進路選択につながるものが十分あった」の満足度R5年度には86%とする。(H30:82%、R1:86%、R2:80%)

(2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加

ア 「部活動に係る基本方針」に則り、部活動を活性化すると同時に、適切かつ計画的な活動を図る。

※部活動入部率をR5年度には77%とする。(H30:80%、R1:77%、R2:72%)

イ 学校行事への積極的な参加により、満足度を高める。

※「体育祭」「文化祭」の満足度をR5年度には92%、91%とする。(H30:[92、93]、R1:[92、91]、R2:[一、83])

(3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携

ア 部活動や授業において、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加する。

※「自主性を伸ばすことが出来た」の満足度をR5年度には77%とする。(H30:75%、R1:77%、R2:74%)

4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信

(1) ホームページの充実

ア 学校の情報をタイムリーに保護者・生徒に提供するとともに、外部に対して学校教育活動の周知を図る。

※HP、校長ブログ等の更新を頻繁に行い情報の発信を行う更新回数を200以上とする。(H30:60回、R1:229回、R2:305回)

(2) 学校説明会の充実

ア 学校説明会、オープンスクール及び、ミニ見学会等の内容を参加者のニーズに合うよう充実させる。

※各種説明会の参加総数前年度実績より伸ばす (H30:1300人、R1:1180人、R2:777人)

(3) 緊急時の連絡手段の構築と活用

ア 緊急時等における生徒・保護者・教職員の連絡手段の活用を図る。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和3年11月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>※%は肯定率</p> <p>【学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒は授業について80%（1年86%、2年81%、3年74%）（昨年81%）が「難しい」と回答し、昨年とほぼ横ばい、「授業の教え方を工夫している教員がいる」という評価は94%（1年87%、2年98%、3年97%）（昨年93%）で昨年と横ばいであった。今後は、ICTの活用も含めた授業改善への取組みを続けたい。 保護者アンケートの「子どもは授業が分かりやすく楽しいといっている」の評価は、76%（66%）で昨年を上回った。今後も教え方の工夫と進度・内容の検討の継続が必要である。 本校のキャリアガイダンス（将来の進路や生き方について考える機会）については生徒の90%（1年91%、2年87%、3年91%）（昨年90%）、保護者の90%（昨年90%）、教員の74%（昨年84%）が適切であると評価している。総合学科として、総合的な探究の時間も活用し、生徒への働きかけを今後も継続していく。 選択科目について、3年生徒の73%（昨年68%）、保護者の92%（昨年86%）、教員の79%（昨年79%）が「生徒の興味関心に応じている、期待通りであった」と評価している。さらに魅力ある科目となるよう工夫に努めたい。 <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活に対する意識については生徒の80%（1年81%、2年74%、3年84%）（昨年76%）が「行くのが楽しい」と回答し、また保護者の86%（昨年83%）が「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と、どちらもやや上回った。今後もより安全で安心な学校づくりの取組みを行っていく。 保護者は本校の生徒指導に85%（昨年86%）が肯定的であった。生徒の「自分は生徒指導上のルールを守っている」では、93%（1年92%、2年96%、3年91%）（昨年92%）。真面目な生徒が多く、来年度も持続していきたい。また、「人権教育の機会と内容」については生徒の91%（1年92%、2年89%、3年91%）（昨年88%）、保護者の90%（昨年90%）が肯定的に捉えており昨年度とほぼ横ばい。「いじめへの対応」については、生徒の87%（1年86%、2年89%、3年85%）（昨年81%）、保護者の83%（昨年82%）が肯定的にとらえている。新型コロナウイルス感染症に関わる偏見や差別につながる行為、いじめや体罰等の人権侵害のない学校を今後もめざしていきたい。 <p>【学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年生は89%（昨年83%）が総合学科を選んでよかったと評価し、79%（昨年74%）が「自分で考える力・自主性を伸ばせた」、76%（昨年65%）が「コミュニケーション能力が身についた」と評価し、両者ともに昨年度を上回った。総合学科の特色の一部見直しを視野に入れ、今後も生徒の育成に励みたい。 文化祭や体育祭等の学校行事について保護者は85%（昨年67%）が活発であると評価し、生徒は文化祭に83%（1年82%、2年81%、3年85%）（昨年70%）、体育祭準備含め二日に分けて実施したが78%（1年81%、2年73%、3年80%）（昨年42%）が肯定的に答えており、コロナ禍での規模縮小であったが昨年を上回った。今後も生徒の自主性を尊重した学校行事の充実を図っていききたい。（参考）行事後すぐに実施した生徒会アンケートでは、文化祭86%（昨年83%）、体育祭は92%（一昨年91%）が満足と答えた。） 教育相談については、生徒の「担任の先生以外に相談できる先生がいる」は49%（1年39%、2年48%、3年61%）（昨年43%）と、上昇してきているが、低い数値になっている。これは主に担任が面談等を繰り返し行い、親身になって相談にのっている結果とも考えられる。相談（教育、キャリア、健康）体制について、今年度も生徒支援委員会の教員が交替で常駐したが、来室生徒数は少なかった。 教員の「PTA活動へ参加している」が36%（昨年51%）であった。新型 	<p>第1回（7/14）</p> <p>○確かな学力の育成と授業改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■SDGsの話があったと思います。生徒がテーマを選ぶところから考えているのか、学校としてどうして行くのか教えてほしいと思いました。担当者から、まず、本読んだり調べたりしながら生徒一人ひとりがテーマを選んこと、同じテーマを選んだ生徒が集まって関心のあることなど話し合っレポートにまとめること、それを校内で発表できれば校外のコンペなどでも発表していきたいと考えておられるとのことをお聞きしました。発表することで生徒の能力を伸ばすことが目的であるという考えに同感です。 ■ウィズ・コロナやアフター・コロナといわれますが、コロナ前と今と生徒の様子は違いがあるか尋ねたところ、うまくストレスを発散できていないのか、違うように感じますとのこと。大学生は対面授業に飢えているようなところがありますので参考にしてください。 ○安全で安心な学校づくりについて ■生徒指導のところで、家庭環境が変わってきているというお話がありました。学校だけでなく家庭でも生徒のサポートができないか、PTAも現状を把握して保護者同士で考えてかかわっていけないかと考えています。家庭でのSNSの利用に関する問題なども重要だと思いました。 ■「自立支援コース」生徒の交流や実習は、多様な人と接する貴重な機会だと思います。コロナ禍で交流や実習が困難でも、代替の方法含め必要かと思う。 ■通学時の安全確保という点で、先生方が毎朝安全指導を行っておられることは地域住民からも好意的な意見も多くある。しかし車での生徒送迎については、特に雨天時に住宅地道路への侵入・駐停車・乗降など、通行の妨げなどが多数みられます。保護者のこのような行動は残念。学校側からも注意喚起の強化をお願いしたい。 ■登下校の安全確保は生徒一人ひとりの自覚も大切ですが、環境整備も大事です。引き続き行政との連携をお願いします。歩道整備の話がありましたがどのように進めてこられたのか、敷地を提供してということですがどれくらい前に始められたのか、とお尋ねしたところ、前任の校長から進めてきておりようやく昨年測量が行われ、今年設計できればと聞きました。地域の連合会長さんと一緒に堺市に陳情に行かれ、教育委員会とも相談の上進めておられるとのこと、具体的な動きがあれば、ホームページにも掲載してほしい。 ○夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成について ■行事の縮小や外部との連携がむずかしい年度になりますが、こちらもICTを活かし、保護者や中学生に発信できるツールを積極的に取り入れていただきたい。 <p>第2回（10/29）</p> <p>○確かな学力の育成と授業改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ICTによる映写の活用で、板書の時間を減らして、その分考える時間を増やすことができたとき聞きました。授業中の発問や「探究」での役割分担では、積極的に自ら挙手する生徒が増えたと聞きました。授業見学では、ICT（プロジェクター、PC）と紙の併用が印象的でした。 ■他学年は不明ですが、1年生では、積極的に発言する生徒がより多いように感じました。 ■看護棟を見学しました。看護の科目について、2・3年次併せて最大4科目まで取れること、1科目～4科目まで選択している概算人数は男子の数名やリハビリ系、保育系の希望者含め40名程度であること、授業で学んだことを入試での志望理由書や面接・小論文に活用していることを聞き、今後も開講をお願いしたい。 ○安全で安心な学校づくりについて ■自転車通学時のルール・マナーの指導徹底をお願いしたい。 ■保護者の自家用車による送迎の自粛の徹底をお願いしたい。 ■生徒のSNSの利用など指導をお願いしたい。 ○夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成について ■「総合的な探求の時間」について、まずはグループで話し合い、クラス内で発表、そのうち、選ばれたクラス代表が学年全体で発表、そのうち、選ばれた学年代表が外部での発表につながればとお聞きしました。やはり、インプットだけでなく、アウトプットが重要ですとの考えに同感です。 ■支援学校との交流会について、以前から行われているのは7月に40名程度が訪問し一緒に授業やHRに参加する訪問交流、12月に40名程度が来校し一緒にHRに参加する招

コロナウイルス感染症の影響もあり関係者のみで対応しているところもある。次年度は、校内でできる PTA 活動の企画や行事の内容を検討し、教職員に啓発することによって参加率を高めたい。

・教員の「仕事の引継ぎがスムーズに行われて継続性がある」については 36% (昨年 52%) であった。これに対しては、年度替わりの各分掌、各学年、各委員会において、次年度の課題に向けての対応の仕方や、課題解決方法などを引継ぎ、一人ひとりが組織人として情報共有、共通理解を深めていく必要がある。特に主任や長が変わる場合は必ず全てのデータ（電子・紙媒体）を引き継ぎ、円滑に運営が行われるようにすることが必要である。

・教員の「職員会議等が意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」については 36% (昨年 42%) であった。職員会議については、あらかじめ企画委員会で協議内容の論点を整理し、意見交換も十分に行われた後の開催となるため、そのような評価になると思われる。今年度も秋に「観点別評価」をテーマに研究協議形式の研修会をしたところ、活発な討議がなされた。来年度も、より活発な意見交換ができる環境づくりを行う必要性があると考えます。

【情報提供】

・「学校は教育情報について知らせてくれる。」については、生徒は 87% (1 年 86%、2 年 89%、3 年 86%) (昨年 86%) の肯定率である。保護者は 88% (昨年 81%) の肯定率で、今後も情報提供の充実にに向けて取組みを続けていく。

【環境】

・「学校の施設・設備に満足している」については、生徒 66% (1 年 58%、2 年 67%、3 年 72%) (昨年 62%)、保護者 72% (昨年 70%)、教員 54% (昨年 43%) であった。

待交流のようでしたが、感染症拡大防止の観点から、昨年から 1 時間程度のオンライン交流に代わったと聞きました。今年度は、本校の食堂や授業・クラブの様子を生徒が作成した動画で紹介し、支援学校生にも大変好評だったと聞き、今後も続けていきたいと思いました。

■外部へのボランティアの参加状況について、「保育園」「こども食堂」が若干名ですが参加していること、高齢者施設や障がい者施設は、いずれも受け入れや募集はなかったことをお聞きしました。堺学フィールドワークには 7 名の参加があったと聞き、堺市関係のボランティア参加のきっかけになればと思いました。自立支援生徒の外部実習・ボランティア活動・高大連携講座の開催の縮小や中止が残念です。

■「夢チャレンジ」「探究」は、将来の就職に向けての「自分探し」が主題かと思いましたが、「自分探し」ではなく「自分は社会の一員として、社会にどう貢献できるのか」を考える時間だとお聞きし、納得しました。

■自立支援生徒の就職について、関係機関と連携して、卒業後も支援が継続的に行き届くようお願いしたい。

■堺市の中学校では、昨年度に全員にタブレット端末を配布して活用しています。タブレットの保守サポーターが昨年度は週 1 回、今年度は月に 2 回来校し、生徒からの相談や教員向けの研修などに対応してくれています。授業中でも映像が見れるなど、来年度の高校一年生からは、授業中に映像を見るのがあたりまえのように感じていると思われるので、その準備をお願いしたい。

第 3 回 (1/28)

○確かな学力の育成と授業改善について

■ICT 機器を活用した授業において引き続き工夫しながら基礎学力の向上に向けて頑張ってください。

■授業により差がありますが、もっと ICT を活用すれば良いのにと感じました。来期に期待しております。

■授業公開・研究授業・授業観察を通じた授業改善の取り組みはよいと感じました。これらの活動は生徒の授業理解度を高め、生徒一人ひとりの希望進路実現に向けて授業を工夫されている様子がわかります。

■Chromebook などの ICT を活用した授業や家庭学習がより浸透することで深い学びが実現でき、授業の中での思考する時間が増えるものと思いますので、生徒の授業理解度がこれまで以上に高まることに期待したい。

○安全で安心な学校づくりについて

■18 歳から成人となることで契約行為などに保護者の取消権はなくなることによる不利益についても、今年度は専門家を呼んでの授業をしていたと記憶していますが、継続開催をぜひお願いいたします。

■ヤングケアラーが取り上げられる事が多くなっています。「きょうだい」と表記する障がい児者のきょうだいの対応も課題となっています。自立支援コースに在籍する生徒のきょうだいへの積極的な関わりをお願いします。合わせて、全ての生徒に少子高齢化の中、家族内で支えることが当たり前で、美德とならないような啓発についてお願いします。家族介護の為に、学業やクラブ活動、学校全体での行事への参加困難は、一人ひとりの生き方を大事にする事に対して矛盾しているといえます。人権の基本は個々を大切にする、生き方は自分で決める事が出来るという自己決定の大切さを教えていただければと思います。

○夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成について

■コロナ禍においても学校行事をできる限り実施できていること、保護者との連絡を欠かさず安全安心に運営されていることはよい。「夢チャレンジ」については、今まで考えたこともないような課題への取り組みに対して、視野が広がるのが期待できます。今後も創意工夫のうえ、授業内容の改善が子どもたちの成長のうえで、大いに役立つことと思います。

■休校による予定変更の状況においても、学外の授業交流等が実施できたことは、とても良かったと思います。

■「夢チャレンジ」の取り組みを通して、物事の考え方や学ぶことの楽しさが実感できると思いますので、充実したキャリア教育にも期待したいと感じました

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 [R2年度値]	自己評価
1 確かな学力の育成と授業改善	(1) 「主体的、対話的で深い学び」、ICTを活用した授業改善、学びの保障	(1) ア・教員相互に資質を高め合う授業公開や研究協議、管理職の授業観察、授業アンケート結果の検証等を通じて、「主体的・対話的で深い学び」、ICTを活用した授業改善に取り組むとともに感染症の発生時に家庭学習に取り組めるようICTを活用するなど学びの保障を行う。 イ・ICT機器等も活用した授業の工夫を進めるため、ICT機器等を利用できる教室整備を進める。	(1) ア・授業アンケートの「教材活用」における肯定的評価 87% [86%] イ・学校教育自己診断における「授業の工夫」の肯定率 95% [93%]	(1) ア・「観点別評価」に向けた授業公開や研究授業、研究協議等を通じて、授業改善に取り組んだ。感染症の発生時に家庭学習に取り組めるようICTを活用するなど学びの保障ができるよう研修も実施。授業アンケートの「教材活用」における肯定的評価 87% (○) イ・「授業の工夫」の肯定率は94%でわずかに目標に達しなかった。しかしながら、創立50周年事業で10月以降に設置した電子黒板機能付きプロジェクターを授業や総合的な探究の時間などで積極的に活用しており、ほぼ目標を達成したと考える (○)
	(2) 相手に自分の考えを伝える	(2) ア・授業、集会において自分の考えを発表したり、意見を聞いたりする機会を設ける。 イ・SDGs(持続可能な開発目標)の視点も踏まえて「総合的な探究の時間」を実施し、ポスターセッション等を通じて自分の考えを伝え、国際的な視野にたてるグローバル人材の育成をめざす。	(2) ア、イ ・「産業社会と人間・総合的な探究の時間」において自分の考えをわかりやすく発表 ・総合学科アンケートの「コミュニケーション能力が身についた」68% [65%]	(2) ア、イ ・総合的な探究の時間においてプレゼンテーションする機会を積極的に設けた。2年生においてはSDGsを自分ごととして考えるをテーマに外部からも講師を招いて実施した。 ・総合学科アンケートの「コミュニケーション能力が身についた」76% (◎)
	(3) 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養	(3) ア・講習等で「学力生活実態調査」のやり直しを行い、基礎学力を定着させる。 イ・「1日勉強会」等に自ら参加する姿勢を育てる。	(3) ア・「学力生活実態調査」のやり直し講習の実施 イ・「1日勉強会」等の参加者を前年度実績から増加させる。[399人] ・学校教育自己診断の「学習に頑張ってきた」74% [72%]	(3) ア・今年度より「ガシドリ」を開始し、基礎学力定着の取組みを実施 (○) イ・1日勉強会は、実施するもののコロナウイルス等で積極的な参加の呼びかけは行わなかった。189人 (一) ・学校教育自己診断の「学習に頑張ってきた」76% (◎)

府立堺東高等学校

2 安全で安心な学校づくり	(1) 人権教育の推進 ア 「ともに学びともに育つ」教育のさらなる推進	(1) ア・「自立支援コース」生徒の授業交流の機会を保障するとともに支援学校との交流の継続実施	(1) ア・「自立支援コース」生徒の交流授業の科目数(6教科)とする。 ・ 支援学校との交流を1回実施 [0回]	(1) ア・新型コロナウイルス感染症で相互の交流は実施できなかったが、オンラインでの交流を2回実施。2回目はクラスごとに交流を実施できた。(◎)
	イ 合理的配慮への取り組み	イ・生徒、保護者から配慮を求める意思表示があった場合は「合理的配慮」を行う。	イ・ 支援を必要とする生徒への取り組みを懇談会、連絡ノートで保護者と連絡を密にして継続し、把握に努める。 [懇談会1回、連絡ノート授業日ごと]	イ・ 懇談会や日々の連絡帳や電話等で保護者と連携し信頼関係を構築できている。(○)
	ウ 自立支援コースの成果の府内での共有	ウ・高等学校支援教育力充実事業支援教育サポート校として府内の高等学校における「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する。	ウ・ 要請をすべて承諾し、府内の高校の支援教育力の向上するため、他校の教員を集めて情報交換会・研修会を3回実施する。[3回]	ウ・高等学校支援教育力充実事業支援教育サポート校として私立学校も含め要請に応じ、府内の高等学校における「ともに学び、ともに育つ」教育を推進できた。研修会3回実施(今後2月に実施予定)(◎)
	(2) 教員の人権感覚や人権意識の育成 ア 人権研修の充実	(2) ア・テーマを替えた人権研修を年間2回開催し研修の充実を図る	(2) ア・学校教育自己診断(教員)「人権教育の校内研修や学習会は充実している」肯定率77% [75%]	(2) ア・同和問題も含め研修を実施した。学校教育自己診断(教員)「人権教育の校内研修や学習会は充実している」肯定率60%(△)今後も様々な人権課題や講師の人選などを充実し、教員の人権意識の育成を図っていく。
	イ 教育相談体制の充実	イ・新型コロナウイルス感染症で様々なストレスにさらされている状況のもと、一人ひとりの心身の状況把握に努めるとともに組織的な教育相談体制を整え、全体で教育相談にあたる意識を醸成する。	イ・学校教育自己診断の「担任以外で相談できる先生がいる」肯定率46% [43%]	イ・学校教育自己診断の「担任以外で相談できる先生がいる」肯定率49%(◎) ホットコーナー(教育相談室)の生徒への周知も十分行っている。新型コロナウイルス感染症に不安を感じる生徒の対応や福祉機関等の連携など担任と生徒支援委員会が組織的に対応し運営できている。
ウ いじめ防止	ウ・新型コロナウイルス感染症に対する正しい知識と理解を深め、いじめについてどこにでも起こりうることと認識し「いじめ防止基本方針」に則り組織的に取り組む	ウ・学校教育自己診断におけるいじめ対応の肯定率維持 [81%]	ウ・学校教育自己診断におけるいじめ対応の肯定率87%(◎)	
(3) 生徒の規範意識の醸成	(3) ア・安全安心な学習環境の維持	(3) ア・学校教育自己診断「生徒指導上のルール」を守っている94% [92%]	(3) ア・学校教育自己診断「生徒指導上のルール」を守っている93%と昨年度より上昇しているが目標に達しなかった。しかし、昨年度より遅刻数も減少しており目標を達成したと考える。引き続き学校全体で安全安心な学習環境の維持を図っていききたい。(○)	
(4) 通学路の安全確保	イ・外部講師などによる講演を実施し情報モラル、交通ルール遵守の姿勢を育てるとともに薬物乱用防止教育に取り組む	イ・外部講師による情報モラル(SNS含む)、交通安全、薬物乱用防止指導それぞれ1回実施する。	イ・交通安全については、依頼先のコロナ対策で講師派遣ができず本校職員が実施した。それ以外は外部講師で実施。(○)	
(5) 働き方改革	(4) ア・堺市建設局、地域自治会の協力を得て学校周辺の歩道整備を推進する。	(4) ア・堺市建設局、地域自治会との協議の継続し、工事の設計まで進める。	(4) ア・新型コロナウイルス感染症関係で予算が厳しい状況で測量の図面を起こすまで終了。予算がつき次第、設計に入ると伺っている。(一)	
	(5) ア・「働き方改革委員会」において働き方改革を進める	(5) ア・ 業務を整理するとともに働きやすい職場環境の整備に努める	(5) ア・業務削減などアンケートを実施したものの中から、可能なものから実施した(○)今後も働きやすい職場環境の整備に努める。	

<p>3</p> <p>夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成</p>	<p>(1) キャリア教育の充実 ア 教科・科目の連携</p> <p>イ インターンシップの充実</p> <p>(2) ア 部活動の適切な運営と学校行事への積極的な参加</p> <p>(3) ア 学外活動への積極的な参加と地域連携</p>	<p>(1) ア・生徒の進路実現に向け「産社」「志学」「総合的な探究の時間」「HR」等の連携を図るとともに「志学」において大学や専門学校へのオープンキャンパス等への積極的な参加などキャリア教育の充実を図る。また、地域の大学との連携を図る</p> <p>イ・保育所、病院、老人介護施設、医療系大学等へのインターンシップの継続</p> <p>(2) ア・「部活動に係る活動方針」、「部活動の適切な運営」に則り生徒・教職員にとって適切な活動を進める。</p> <p>・「体育祭」「文化祭」「クラスマッチ」等の生徒が自主運営する行事の活性化</p> <p>(3) ア・地域小学校との交流の継続 イ・地域のイベントやボランティア活動への参加</p>	<p>(1) ア・総合学科アンケートにおける「選択科目における進路選択」の満足度 83% [80%] ・学校教育自己診断における「キャリア教育」満足度の維持 [90%] ・「進学(大学)に関するレポート」提出率 100% [-]</p> <p>イ・保育所、病院、老人介護施設、医療系大学等へのインターンシップの継続 [20名]</p> <p>(2) ア・体罰ゼロの継続 ・入部率の維持、伸長 [72%]</p> <p>・「体育祭」「文化祭」の満足度 90% [体一 文 83%] ・「自主性を伸ばすことが出来た」(総合学科アンケート) 76% [74%]</p> <p>(3) ア・地域小学校との授業交流の継続 イ・地域のボランティア活動の継続 [24名]</p>	<p>(1) ア・科目選択の説明会や進路分野別の説明会など丁寧に実施。 ・総合学科アンケートにおける「選択科目における進路選択」の満足度 84% (○) ・学校教育自己診断における「キャリア教育」満足度 90% (○) ・新型コロナウイルス感染症の影響で大学や専門学校へのオープンキャンパスへ参加ができず、「大学訪問レポート」は実施できなかった。(一)</p> <p>イ・新型コロナウイルス感染症の関係でインターンシップや高大連携事業が1回のみの実施となった。16名(一)</p> <p>(2) ア・「安全で安心な学校生活アンケート」において今年度も「体罰」がないことを確認した。(◎) ・4月の部活動入部期間に新型コロナウイルス感染防止で部活動の制限があり、入部のきっかけを逃してしまった。その後に部活動体験期間を設けたが入部率は伸びなかった。71% (△) 年度当初に部活動歓迎会を実施し、入部率の向上をめざす。 ・体育祭は、新型コロナウイルス感染症の関係で6月下旬に延期をして開催。熱中症等も考慮し2日間に分割して開催した。文化祭は新型コロナウイルス感染症の臨時休業で1日に短縮して開催。「体育祭」「文化祭」の満足度は、92%と86%であった。(一) ・「自主性を伸ばすことが出来た」(総合学科アンケート) 79% (◎)</p> <p>(3) ア・地域小学校との「福祉」の授業での交流 (○) イ・地域のボランティア活動も新型コロナウイルス感染症予防の観点からほとんどが中止であった。地域のボランティア活動82名(◎)</p>
<p>推 4</p> <p>進 開</p> <p>と かれた</p> <p>情 学校</p> <p>報 づくり</p> <p>の 発信</p>	<p>(1) ア ホームページの活用</p> <p>(2) ア 学校説明会での情報発信</p>	<p>(1) ア・ホームページを活用し進路情報も含めた学校の情報の発信をするとともに緊急時情報発信への活用も行う。</p> <p>(2) ア・参加者のニーズをとらえた学校説明会、ミニ見学会を開催するとともに中学校等からの説明会に積極的に参加</p>	<p>(1) ア・ホームページ、ブログの更新を頻繁に行い情報の発信に努める。更新回数 200 [330]</p> <p>(2) ア・学校説明会等におけるアンケート実施 ・学校開催の説明会等参加者数の増加 [777名]</p>	<p>(1) ア・保護者に対して、新型コロナウイルス感染症関連の緊急連絡やホームページを活用できた。ホームページ等更新回数 286回 (○)</p> <p>(2) ア・学校説明会等においてアンケートを実施し、参加者のニーズの把握に努め、今後の充実を図った。(○) ・オープンキャンパスとミニ見学会の学校説明会事業の開催したが、新型コロナウイルス感染症関係で中止が相当数あった。369名(一)</p>